

ペテロの手紙第二 第3章 18節

「私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの恵みと知恵において成長しなさい。このキリストに、栄光が、今も永遠の日に至るまでもありますように。アーメン。」

春一番が報じられ新芽が目にとまる。生暖かい春の雨が、冬の空を耐え忍んできた木立を濡らす。寒風から目覚める季節となる。昨日は目立たなかった新芽が、今日は薄緑の葉を伸ばす。温度といえ、雨といえ、ほどよい風具合といえ、新芽を急成長させるに丁度良い。それと、良い時に木立の内側から伸びようとする新芽のエネルギーが相まっての成長である。そこで受けたすべてを、肥やしとし、そこで青々と成長するのは麗しく、美しい。

新芽を見守る人々は、皆それぞれの環境を与えられ、望めば成長が可能な存在である。置かれた場で、陽のひかりを受け、いのちの水を飲み、新鮮な空気の流れを呼吸する。この日々の恵みが人の成長を下支えしている。与えられた環境のなかで、たとえそれが一見良くてそうでなくても、精一杯呼吸をしながら成長を喜び楽しむ。

その人に、言われたことばが、成長の方向である。「イエス・キリストの恵みと知識において成長しなさい。」あらゆる環境において成長が出来る。その内容まで知る。